

別記様式

令和6年度学校評価報告書

令和7年（2025年）3月25日

北海道教育委員会教育長 様

北海道東川高等学校長 高 倉 友 恵

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- 1

学習や特別活動等に主体的に取り組み、自分の夢や目標を大切にし、達成に向けて継続的に努力する生徒を育成する。
- 2

社会性を身につけ、自律的に行動し、他者を思いやることのできる生徒を育成する。
- 3

様々な人と関わり、自己の在り方や生き方について深く考え、社会で生き生きと活躍できる生徒を育成する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・基礎学力向上に向けた取組（朝学習におけるスタディサプリの活用等）により、特に1学年において基礎学力の向上が見られた。 ・3学年における総合的な探究の時間（東川学）の成果発表会を実施できたことで、3年間を通じた探究学習の指導の見通しにつながり、今後のプログラム構築への大きな一歩となった。	・学習については、基礎基本の徹底について期待する。 ・東川学については、地元企業等に連携協力を要請し、地元の資源を有効に活用することを期待する。
改善方策	○授業評価を生かし、授業改善に向けた校内研修等に取り組む。 また、1学年において、英語と数学で習熟度学習を行う。	
生徒指導	・いじめ防止対策委員会において、生徒一人ひとりに向き合い、外部機関との連携を含め組織的に対応できた。 ・「社会性の育成」に向け挨拶等で改善が見られた。	・いじめについては、未然防止や早期発見の対応を期待する。不登校生徒の対応については、様々な要因があると思うが、生徒に寄り添いながら、社会的な自立を促す指導を期待する。
改善方策	○いじめや不登校生徒の対応については、引き続き組織的な対応を行う。また、「社会性の育成」については、様々な教育活動と関連した具体的で継続的な指導を行う。	
進路指導	・地域人材の活用や外部機関と連携した取組等によりキャリア教育の充実を図ることができた。 ・成績上位層の進路実現に向けた取組に課題が残った。	・今後、社会全体が大きく変化していくことが予想されるが、進学や就職に限らず、将来を見据えた指導を期待する。
改善方策	○進路だよりを充実させ、自己理解を深める活動や生徒の特性に応じた指導を行う。また、進学指導の充実に向け、放課後や長期休業中における進学講習など、計画的な指導体制を構築する（町の公設塾との連携を含む）。	
健康安全指導	・教育相談・サポート委員会において、スクールカウンセラーとの連携等により、教育相談に係る取組を充実することができた。 ・避難訓練を含む「一日防災学校」の取組により、危機管理意識を向上することができた。	・生徒が抱える悩みや問題（家庭事情等を含む）に対して、学校が関わる事象が複雑化しているように感じるので、外部機関と協力しながら対応していくことを期待する。 ・防災教育については、町内の関係機関との連携について検討を願う。
改善方策	○多様な悩みや困り感のある生徒への理解に努め、組織的でスピード感のある対応を継続する。また、安全指導については、より現実に即した内容となるよう見直しを図りながら実施する。	
公表方法	学校ホームページで公表する。	

- 3 添付資料
- (1) 令和6度北海道東川高等学校学校自己評価及び学校関係者評価

(2) 令和6年度 学校評価アンケート（PTA）